

「想像して」

新型コロナウイルスの感染が拡大し続ける中、患者だけでなく、ウイルス検査で陰性だった人や周りの人まで差別的言動を受けるケースが相次いでいる。中傷されたり、保育所の利用を拒否されたりする事態に、専門家は「『自分も当事者になるかもしれない』と意識して」と冷静な行動を呼び掛ける。

分は乗船前と変わっていないのに、周りは変わってしまった」とこぼし、「政府が『差別はいけな』と呼び掛けるだけでは変わらない。一人一人が正しい情報を得ようとしてほしい」と憤った。教育現場にも影響は及ぶ。「ハラスメント被害が多すぎた」。3月26日、郡山女子大（福島県郡山市）を運営する郡山開成

斉休校からの学校再開指針で、偏見や差別が生じないよう取り組みを要請。担当者は「未知のウイルスへの不安が弱者への攻撃につながっている面がある。感染が拡大すれば、さらに問題が広がりかねない」と懸念する。新潟大の斎藤玲子教授（公衆衛生学）は「ウイルスを排除したいという意識から、ハンセン病や

陰性でも中傷、周囲も施設利用拒否…

差別 全国で相次ぐ

「近所を歩いてウイルスをまき散らしている」。集団感染が起きたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」に乗っていた大阪府の60代男性は、帰宅後に事実と異なるうわさを流された。

2月の下船時などにPCR検査を複数回受け、いずれも結果は陰性。だが、スポーツジムでスタッフから暗に利用「自粛」を求められた。男性は「自

学園の関口修理事長は記者会見で悲痛な声を上げた。大学の女性教員の感染が判明した後、付属高の制服を着た生徒が「コロナ、コロナ」と指さされたため、部活には私服で登校するよう指示。学園関係者が保育所で子どもの預かりを拒否されるなど、確認できただけで被害は数十件に上る。

エイズウイルス（HIV）などの感染症でも差別は起きてきた。目に見えない放射線を怖がった、東京電力福島第1原発事故後も同じ状況だった」と指摘。今回は自粛ムードで社会的不安が広まっていることが、拍車を掛けている可能性があるとい

過剰反応が相次ぐ中、文部科学省は同24日、一

「自分が差別的な言動を取られたらどう感じるか、想像してほしい」と強調した。

2020年4月9日夕刊

- ① 記事には、新型コロナウイルス感染拡大の中で、中傷や拒否などの差別的言動を受けるケースが紹介されている。あなたが最も気になったケースが書かれている文章の右側に線を引きなさい。
- ② 記事には、新型コロナウイルス感染拡大のほかにも差別的な言動が起きてきた例を3つあげられている。その3つの例の記事から抜き出して書きなさい。

[]

[]

[]

- ③ 記事中の見出しの口には、この記事で最も伝えたい内容が入る。その内容を10字以内で書きなさい（句読点はつけない）。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年 組 名前